

機関リポジトリ担当者のための著作権ワークショップ
—ポストCSIを目指したSCPJ活用戦略—
2012年12月13日@大阪大学

ポストCSIにおける SCPJ活用戦略と日本のOA — NACISIS-ILLログデータ分析を中心に —

小山 憲司

(日本大学文理学部)



本日のアウトライン

1. ILLと文献利用可能性
2. 機関リポジトリの果たした役割
3. SCPJの果たした役割
4. ILLログデータ分析にみる情報利用行動の実態
5. まとめ

利用者数の変化(質的・量的)

発見可能性

文献需要

ILL依頼・
処理

文献の
利用可能性
(所蔵・アクセス)

ILL依頼の手続き

ILL所要時間

一次資料の
電子化

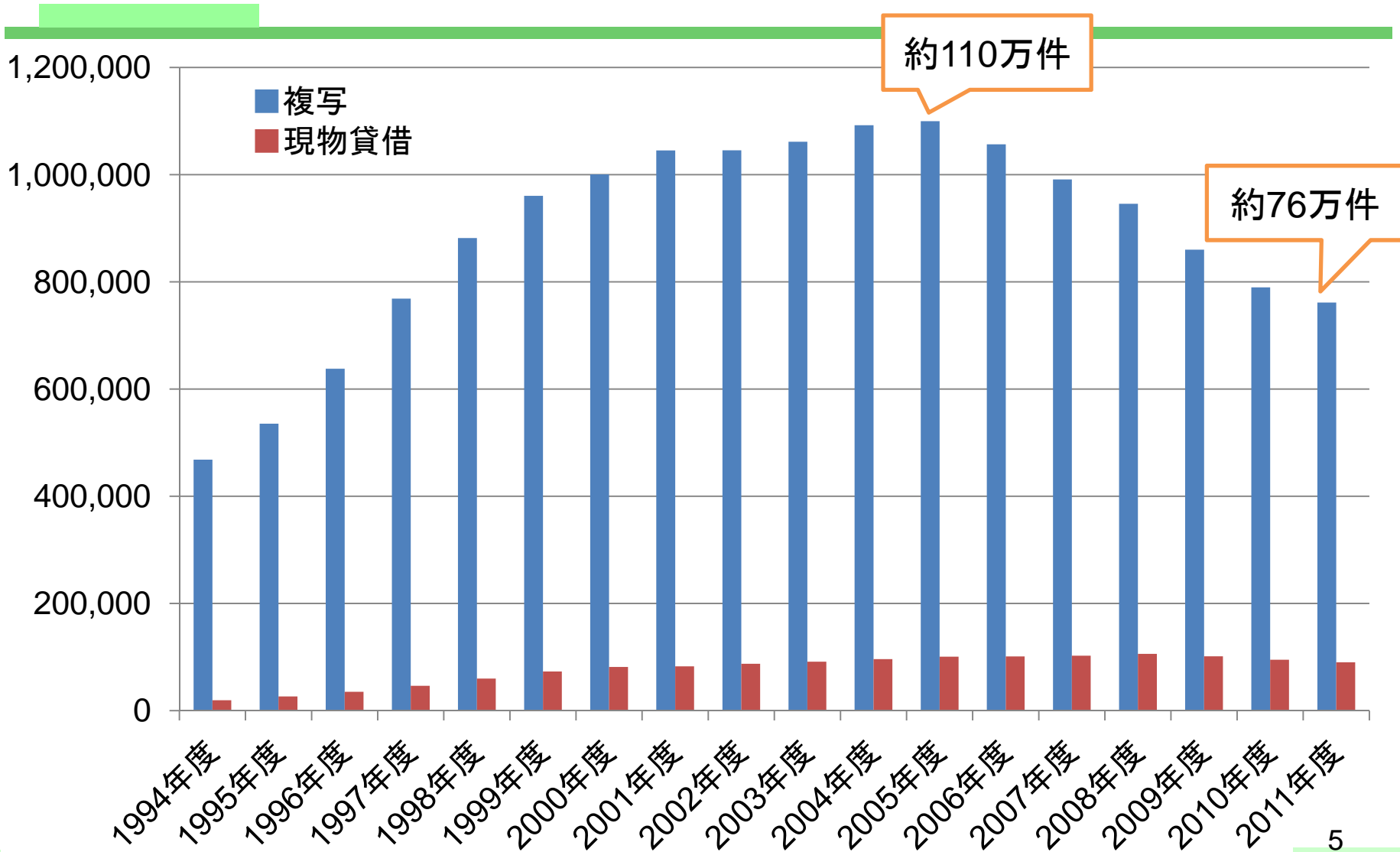
購読
キャンセル

電子ジャーナル
("ビッグ・ディール")

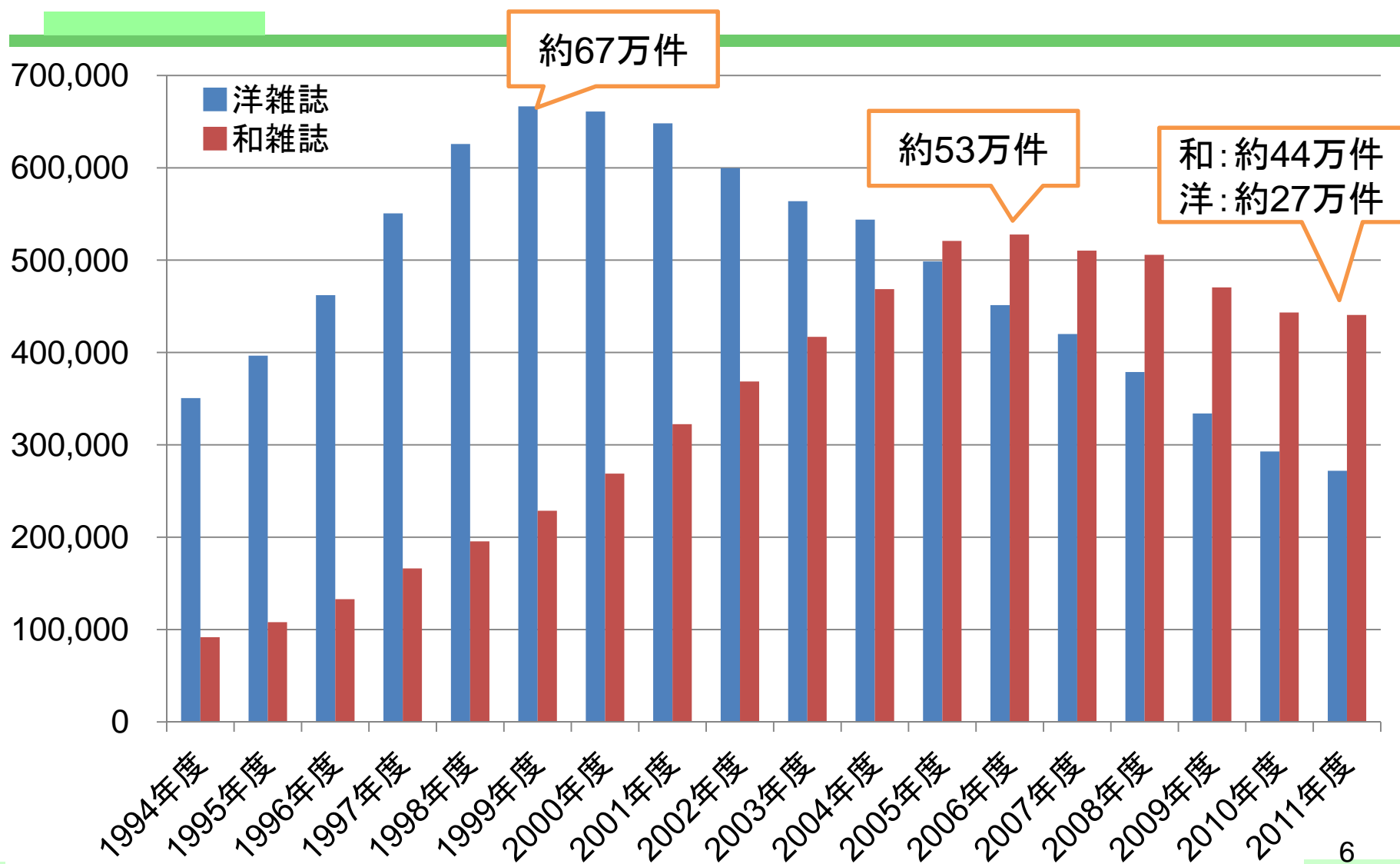
REFORMの成果

- ILL依頼・処理件数の変化
- その影響要因の分析
 - ① 文献の利用可能性
 - 電子ジャーナル(“ビッグ・ディール”)
 - 一次資料の電子化
 - ② ILL依頼・処理
 - ILL所要時間

NACSIS-ILLの処理件数



和洋別複写処理件数



ILL所要日数

- 平均日数が約10日（1994年度）から4日以内（2007年度以降）に
- 2011年度

	日 数
平 均	3. 68
25パーセンタイル	2
50パーセンタイル	3
75パーセンタイル	5



機関リポジトリの果たした役割

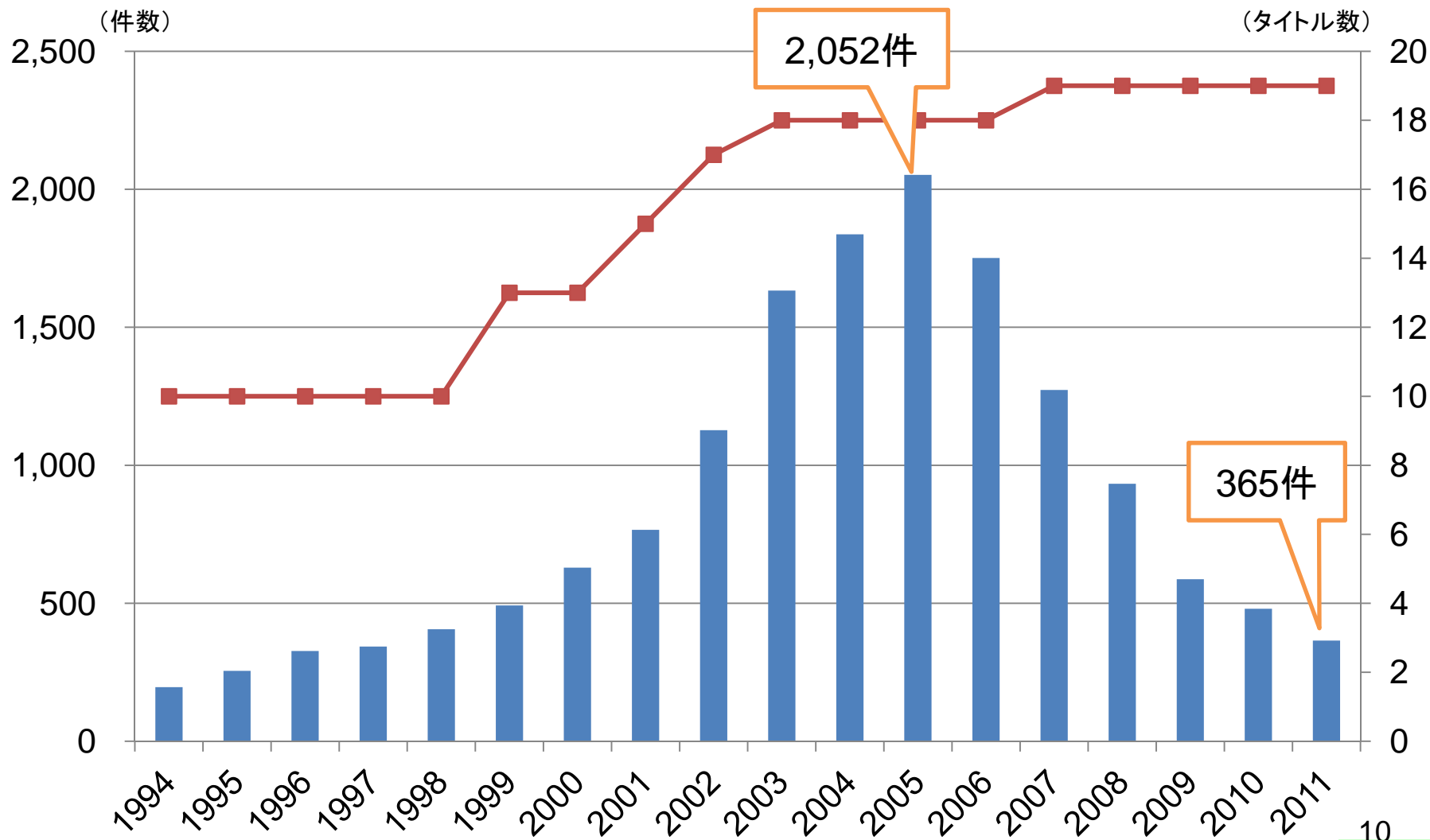
- CiNiiにおける機関リポジトリ収録論文アクセス数とILL
- 紀要論文の登録・公開とILL

機関リポジトリ クリック上位20誌

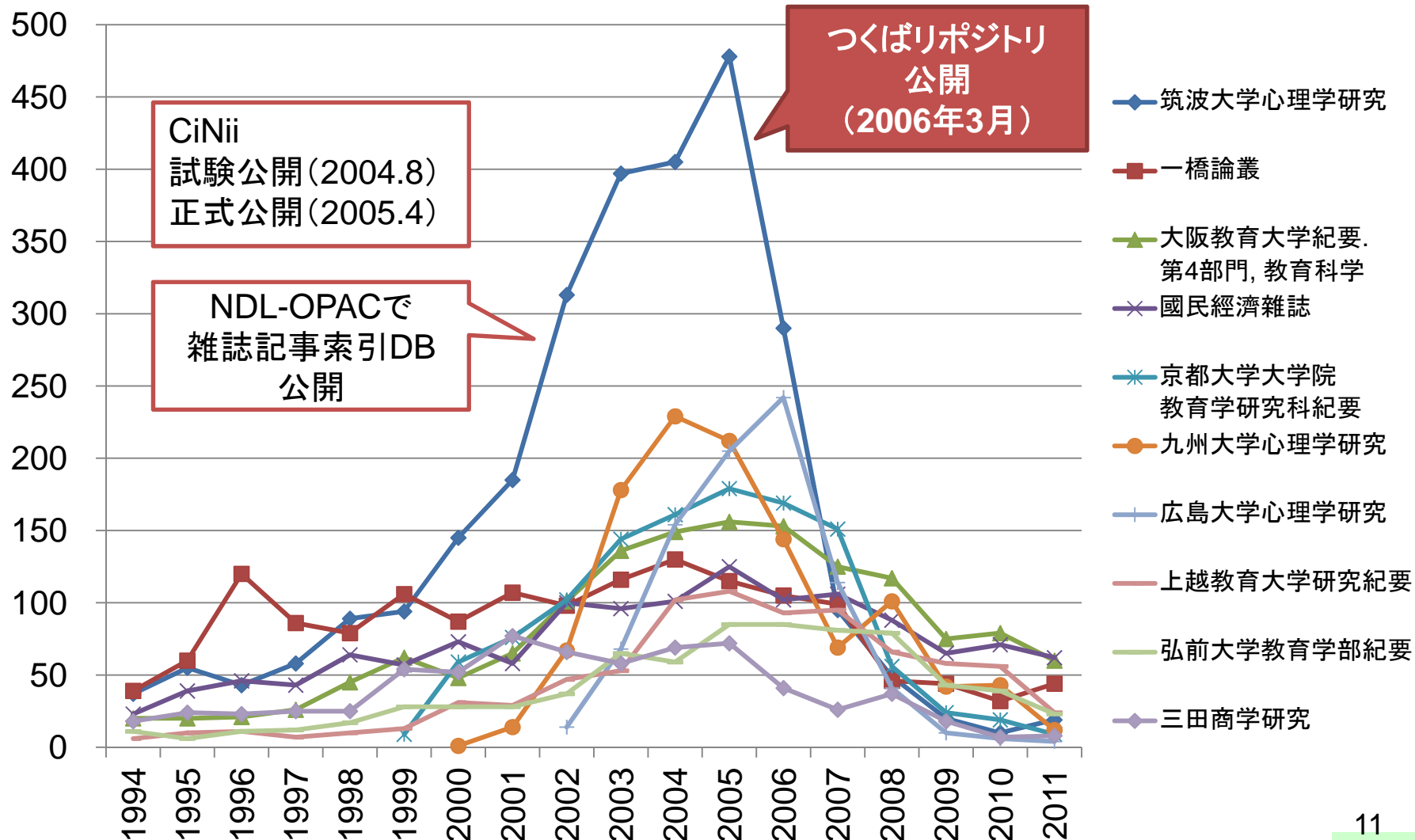
	タイトル	件数
1	筑波大学心理学研究	955
2	一橋論叢	807
3	大阪教育大学紀要. 第4部門, 教育科学	798
4	國民經濟雜誌	769
5	京都大学大学院教育学研究科紀要	639
6	九州大学心理学研究	511
7	広島大学心理学研究	500
8	上越教育大学研究紀要	473
9	弘前大学教育学部紀要	429
10	三田商学研究	428

	タイトル	件数
11	(図書)	427
12	同志社法學	411
13	数理解析研究所講究録	392
14	教育実践総合センター研究紀要	374
15	彦根論叢	361
16	学部・附属学校共同研究紀要	359
17	大分大学教育福祉科学部研究紀要	330
18	岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要	308
19	同志社政策科学研究	305
20	千葉大学人文社会科学研究	298

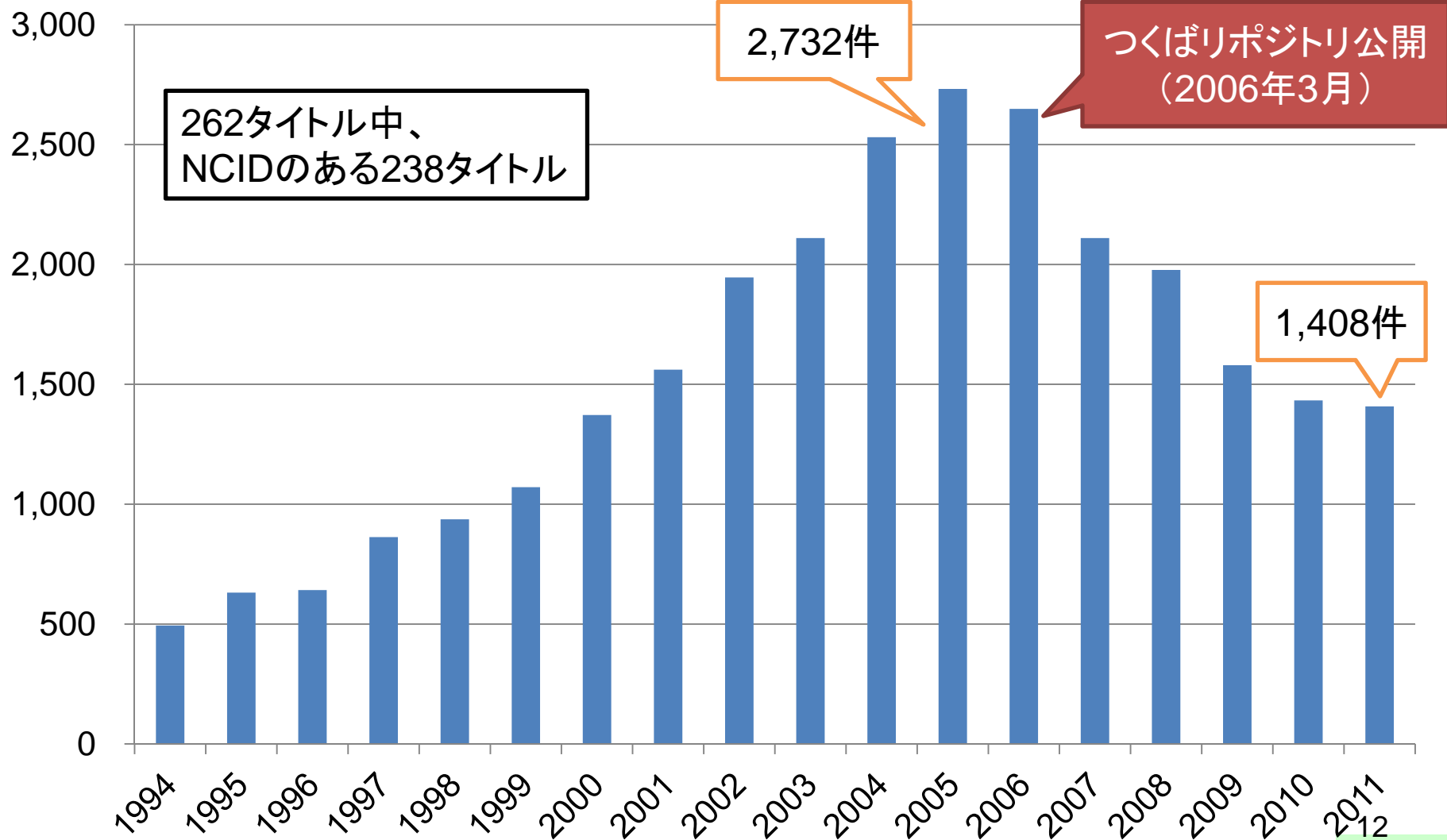
上位19誌に対するILL依頼件数



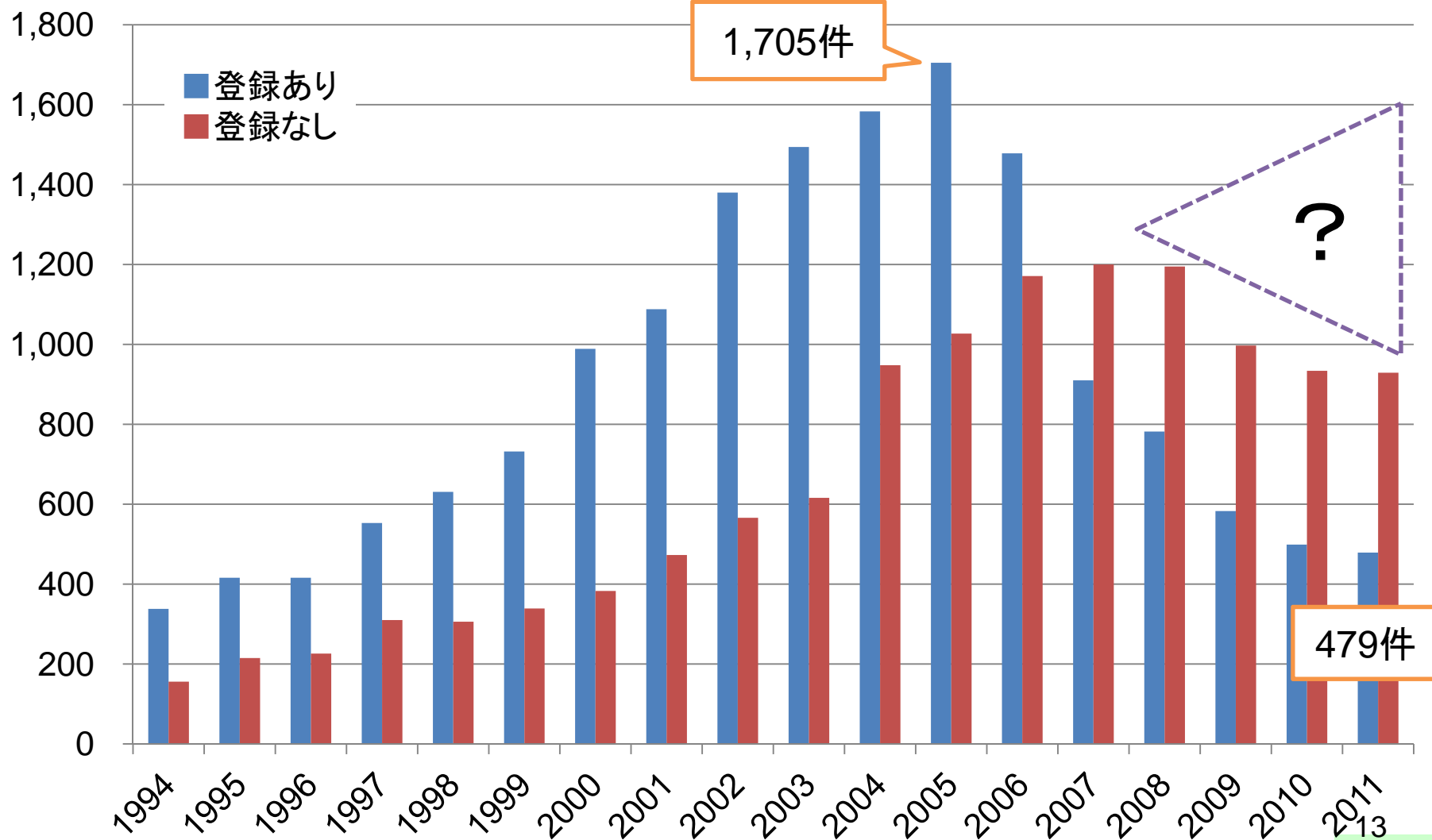
上位10誌に対する依頼件数



つくばリポジトリ収録の 紀要に対する依頼件数



つくばリポジトリ収録の 紀要に対する依頼件数

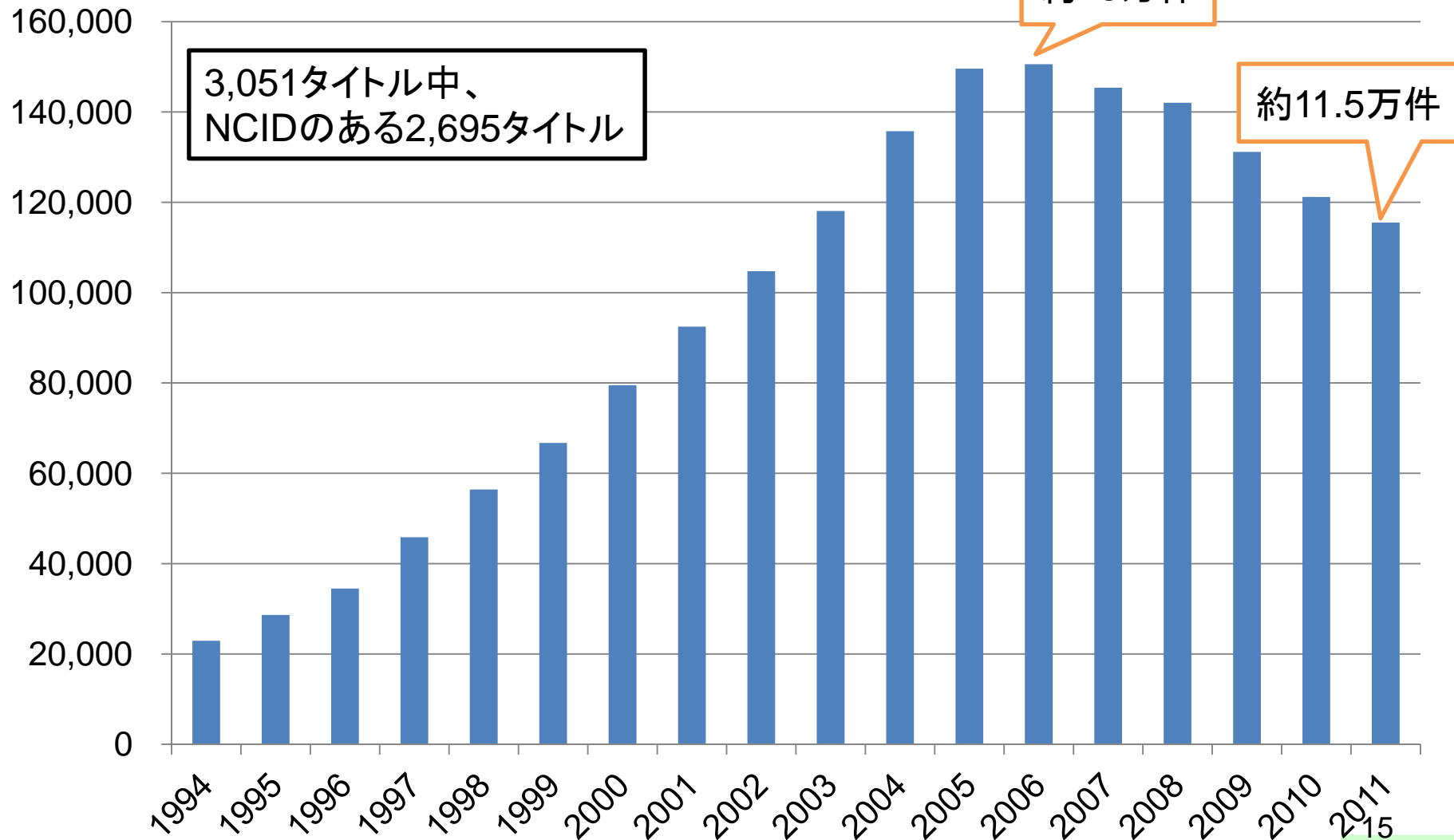




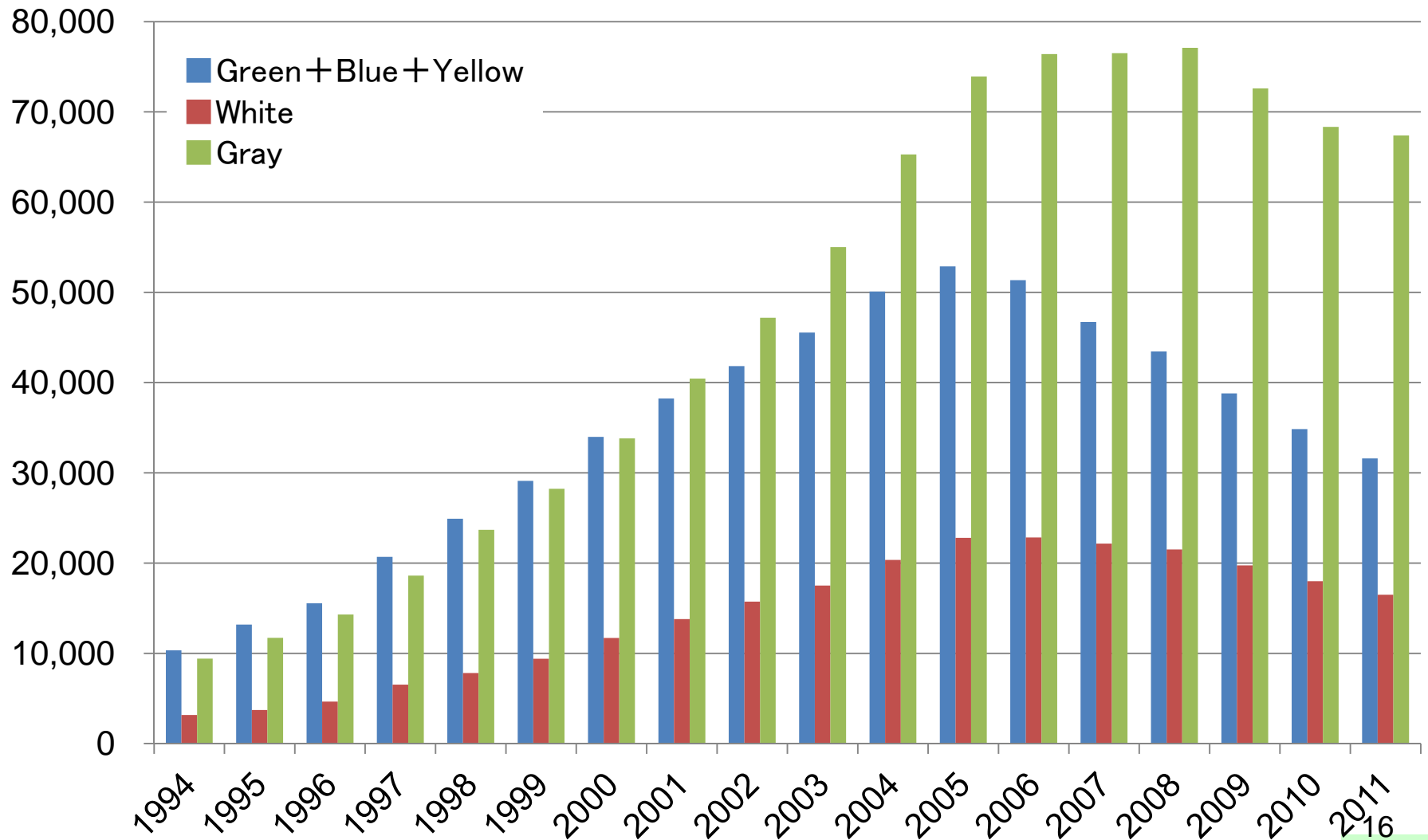
SCPJの果たした役割

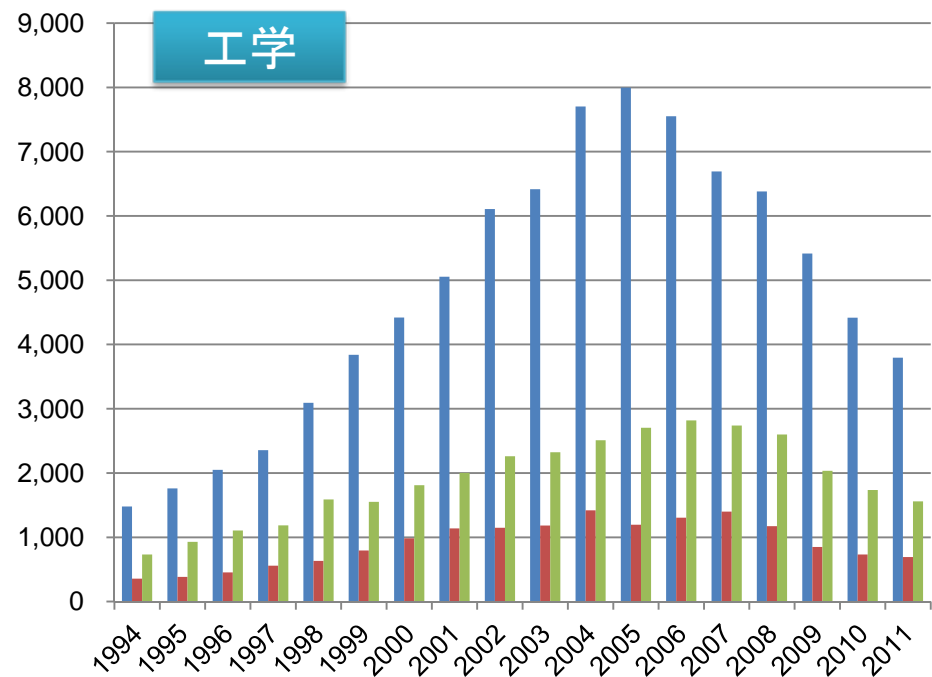
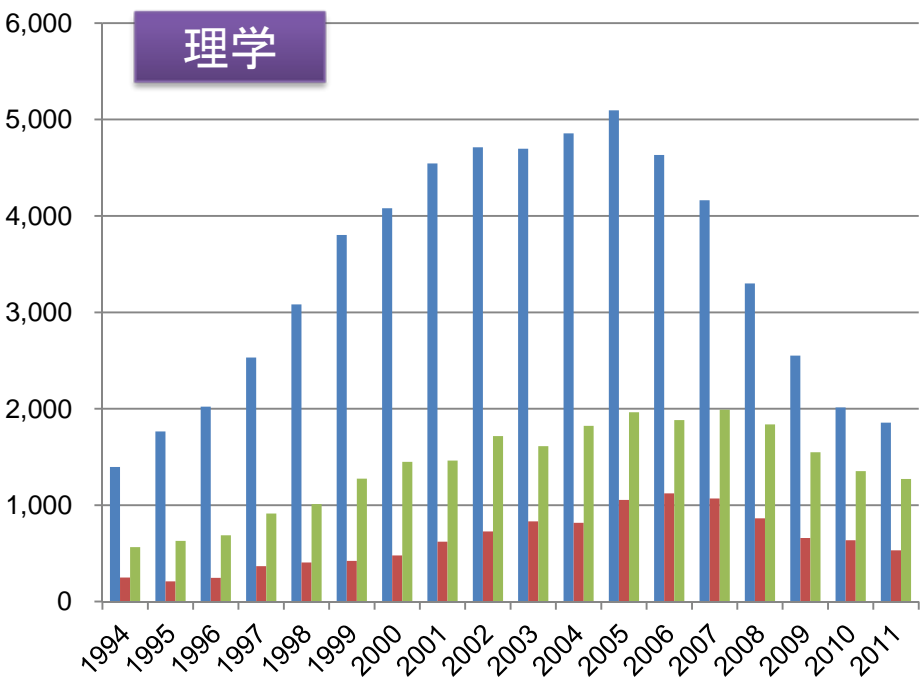
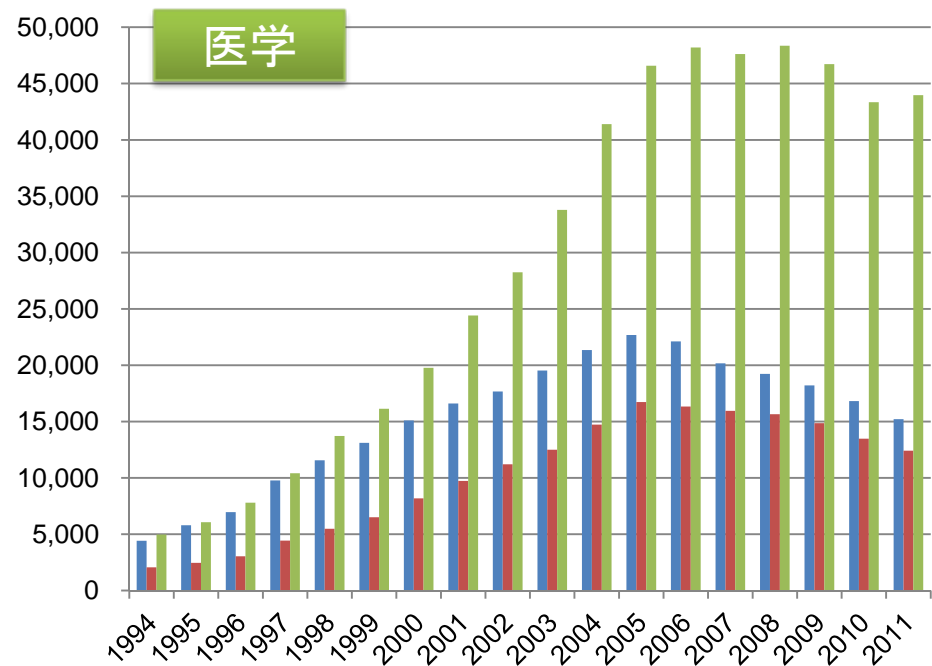
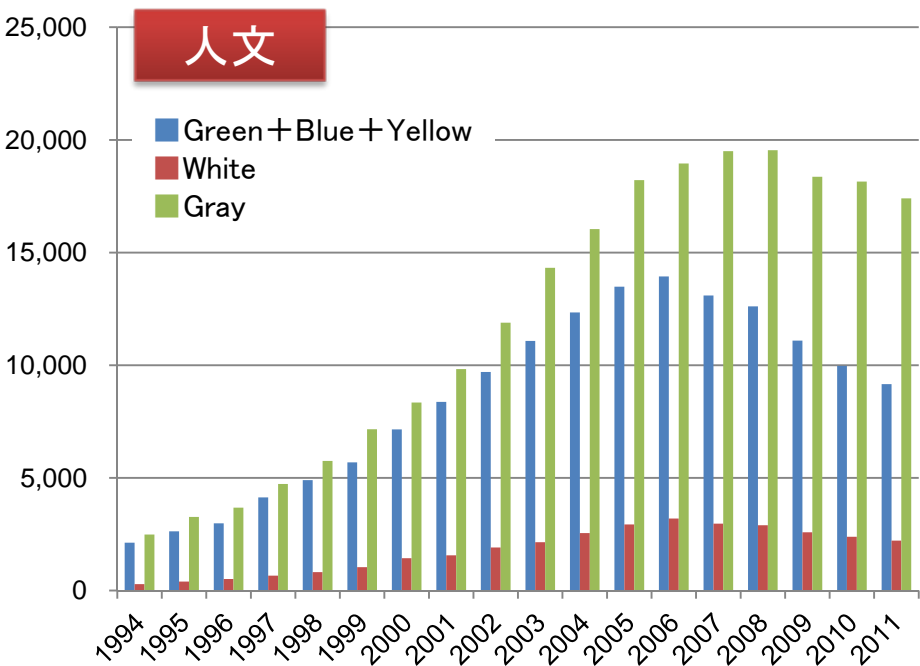
- SCPJ収録学会誌に対するILL依頼件数
- (参考)J-STAGE収録タイトルに対するILL依頼件数

SCPJ収録学会誌に対する ILL依頼件数

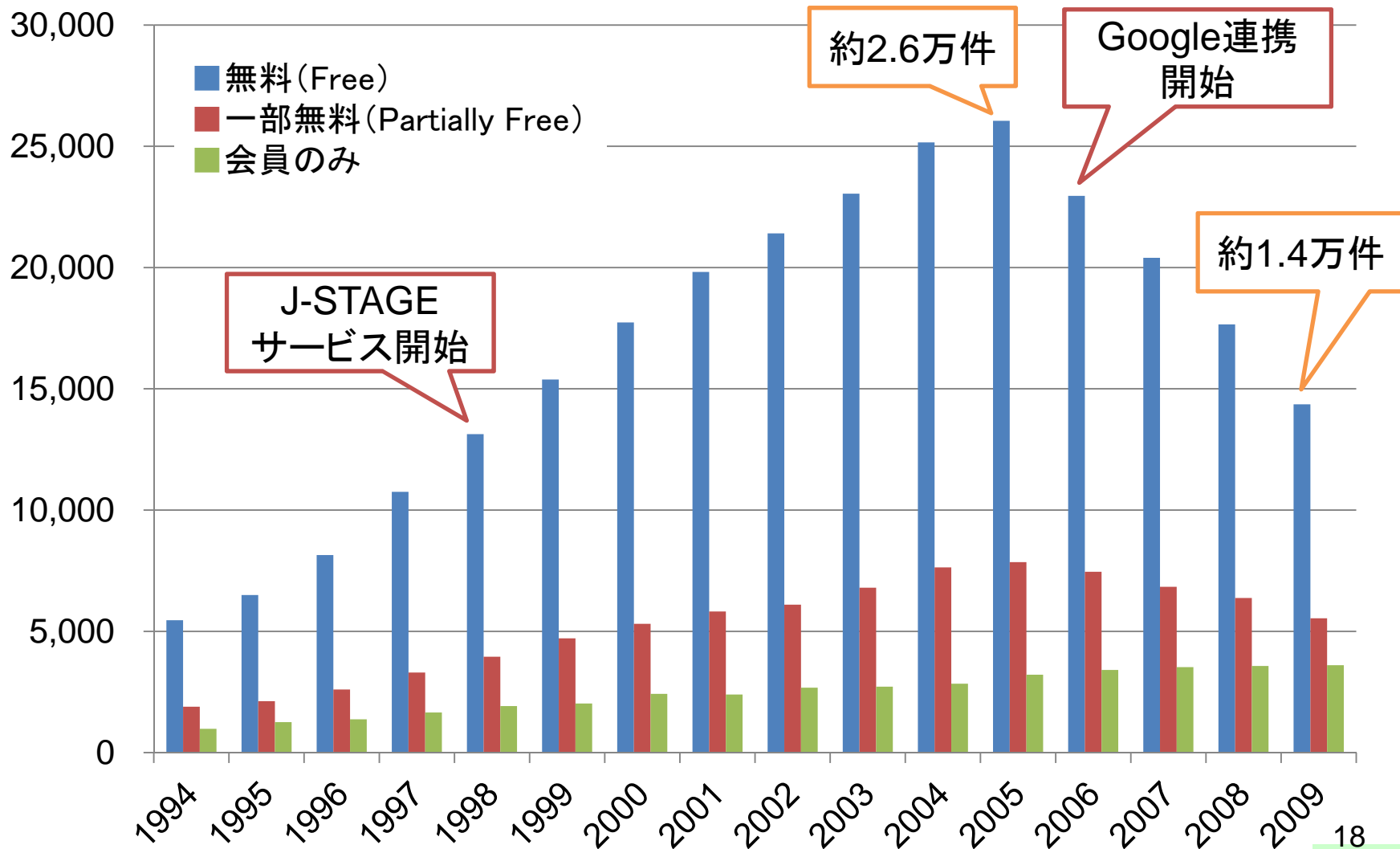


SCPJ収録学会誌に対する ILL依頼件数

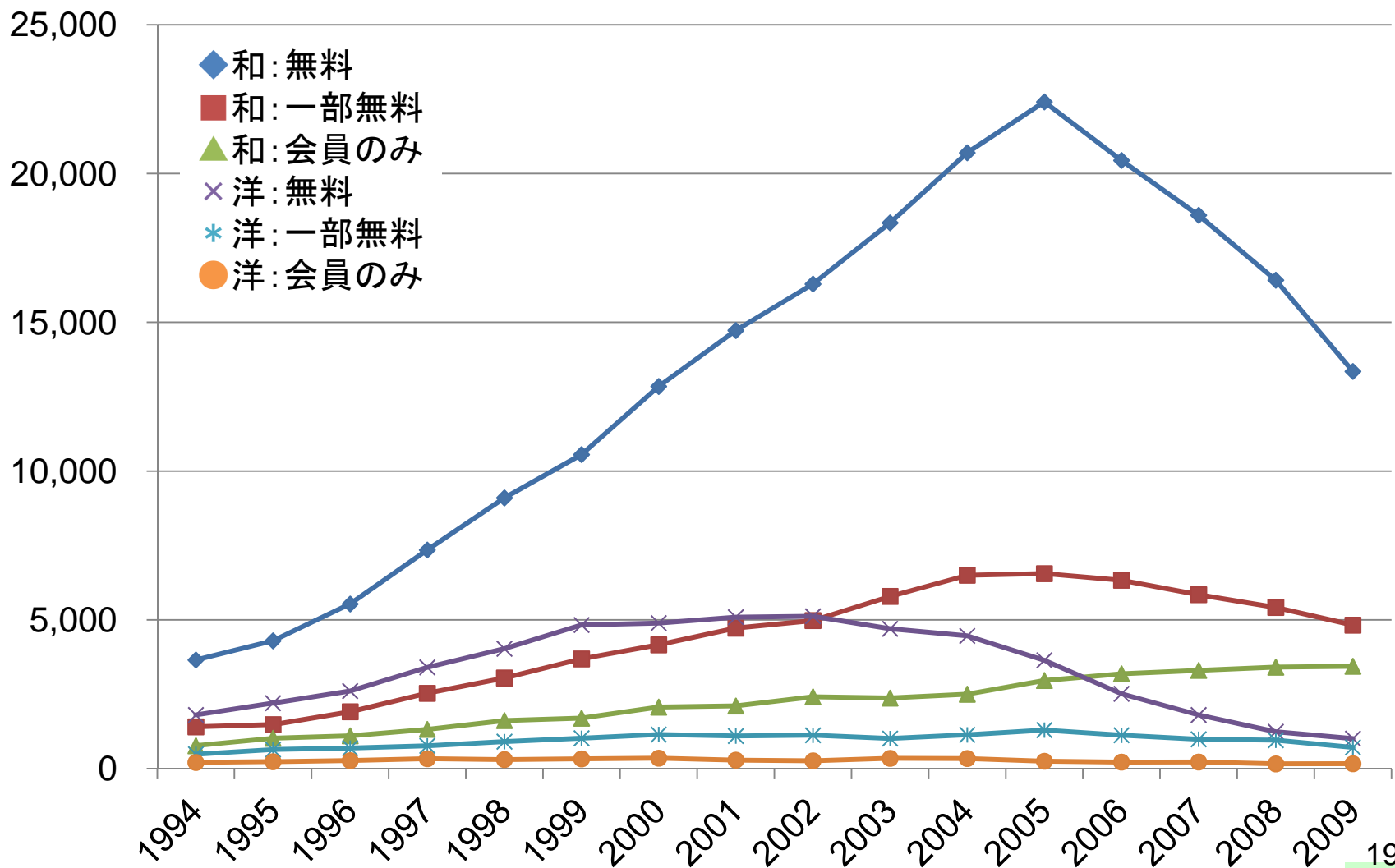




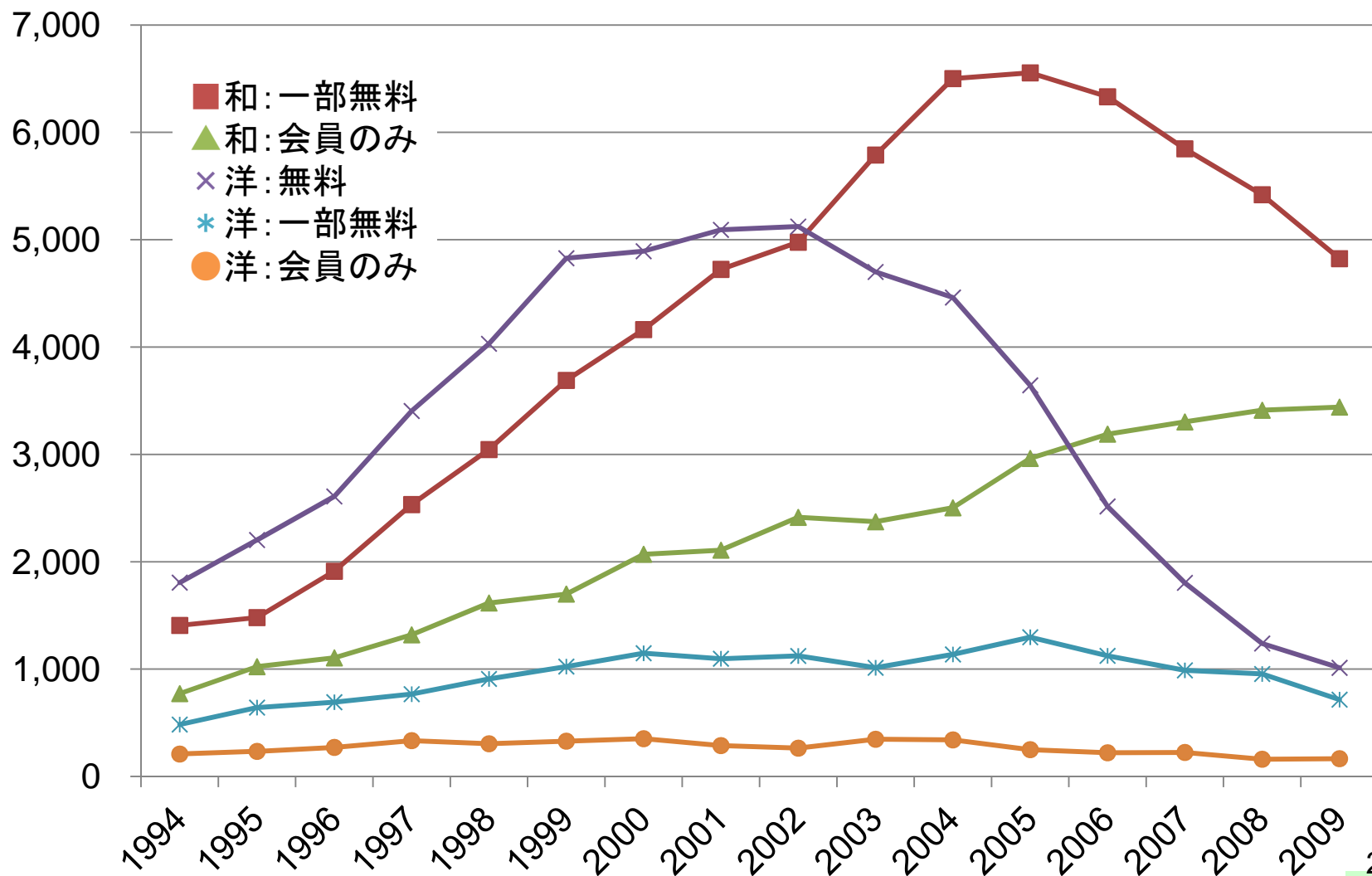
(参考) J-STAGE収録誌への ILL依頼件数



(参考) J-STAGE収録誌への ILL依頼件数



(参考) J-STAGE収録誌への ILL依頼件数

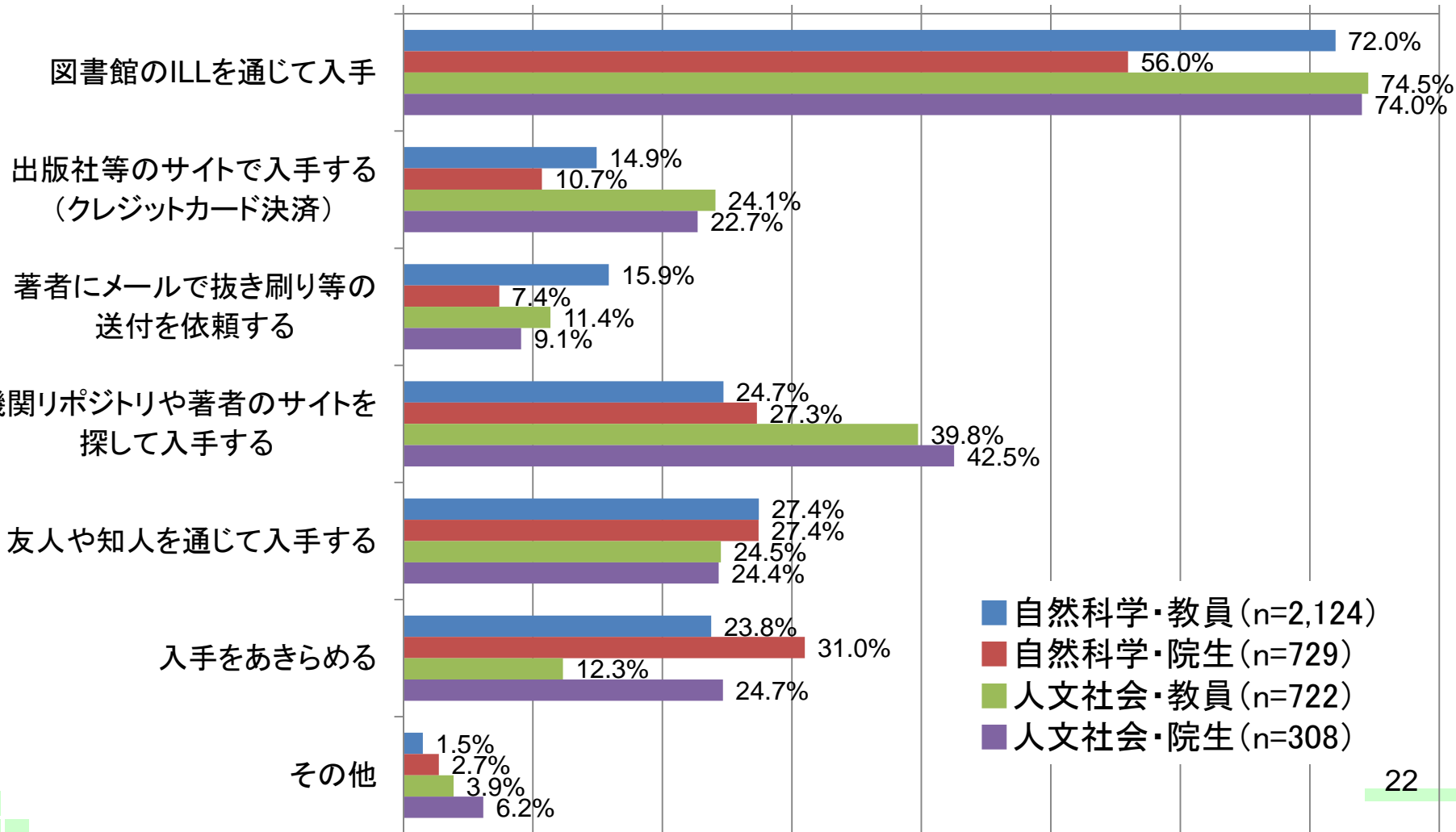


ILLログデータ分析にみる 情報利用行動の実態

- 顕在化した文献需要が利用に結びつくケース
 - 文献の利用可能性の向上により、ILL依頼件数の減少
 - 利用できないものに対するILL依頼件数の増加
- 文献需要が顕在化したものの、利用に結びつかないケース
 - 「入手をあきらめる」

電子ジャーナル、印刷体雑誌以外からの論文入手方法 (SCREAL2011)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%





まとめ

- 発見可能性から利用可能性へ
 - 「検索されないものはないのと同じ」
 - 「利用できないものはないのと同じ」?

まとめ(2)

- SCPJの役割(位置づけ)
 - 単なる図書館員の著作権処理ツールではない
 - 学術雑誌(学会誌)のマーケティング戦略の一翼を担う
 - 「読まれる雑誌とは」
 - 「投稿される雑誌とは」

まとめ(3)

- 発見可能性から利用可能性へ
- SCPJの役割(位置づけ)



- 利用者(研究者)の立場からみたオープン・アクセス



ご清聴ありがとうございました

koyama.kenji@nihon-u.ac.jp